

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム むつみ

作成日: 令和 2 年 11 月 17 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年2回、避難訓練を実施しているが、特に夜間帯で夜勤者1人体制の時の避難訓練の充実と、地域との良好な関係を活かした災害時の相互協力体制を築いていく。	夜間帯を想定した避難訓練を、利用者を巻き込まず、利用者役の職員と夜勤者で繰り返し避難訓練を実施し、非常時に慌てず行動できる体制を整えていく。また、地域と話し合い、災害時の協力体制を具体的に決めていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	新型コロナウイルス感染防止対策のため、運営推進会議は書面での報告として行ってる。この機会に、新しい運営推進会議の在り方を考え、家族、地域、行政との関係が途切れないよう取り組んでいく。	ホーム側の報告を行うだけでなく、参加委員からの質問や意見、要望を書面で返してもらい、ホームから次回書面で回答するやり取りを行う事で、参加委員との質疑応答を継続し、ホームの運営に反映させていく。また、新しい委員の増員にも取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。